

第9回 平成28年（2016年）熊本地震に関する
非常災害対策本部会議

平成28年4月20日16:15
3号館4階幹部会議室

議事次第

1. 石井大臣からの報告

石井大臣

平成28年熊本地震についての国土交通省の対応状況

国土交通省の主な対応状況

(1) 住環境

■二次的避難場所の確保

- ・全旅連等に九州全域の旅館・ホテルへの被災者の受入れを要請（熊本県で1,500人程度）。全旅連は、他県の宿泊施設についても、熊本県からの要請があり次第、受入れる用意あり。
- ・熊本県及び全旅連熊本県支部において、高齢者や体調の悪い方を中心に具体的なマッチングを急ぎ実施中。
- ・ホテルシップについては熊本県を含め関係者と引き続き調整中。

■応急的な住まいの確保等

- ・熊本県において、15日から実施中の被災建築物の応急危険度判定を、判定士を増員して促進。大分県においては、住宅の安全性確認に関する相談窓口を設置済。（本日以降、近畿、中国、四国地方の行政職員を約70名増員）
- ・九州だけでなく全国の都道府県等に対し、公営住宅等の空き住戸の状況報告と被災者の入居に協力するよう要請。※九州では福岡県、福岡市、北九州市、宮崎県（県及び県内市町村）、鹿児島県で申込手続を開始（19日現在）
- ・不動産団体や（一社）プレハブ建築協会に対し必要な協力を要請。

■飲料水等の確保

- ・海洋環境整備船等8隻、巡視船6隻および民間事業者のフェリーにより、三角港、熊本港、八代港等にて給水（飲料水）
- ・独立行政法人水資源機構が保有する可搬式浄化装置（日量50m³：約16,000人分の飲料水を供給可能）を熊本県西原村の要請を受け派遣（4/18）
- ・巡視船6隻により食料支援、入浴・トイレ提供、携帯電話の充電等、海上保安庁航空機等により、生活物資を南阿蘇村、高森町、宇土市等へ搬送
- ・下水処理場は機能を確保。下水管は全国各都市の応援を得て調査点検中
仮設トイレのし尿は一部処理場で受入中

(2) 物流

○幹線物流

- ・大手物流事業者の参画の下に、プッシュ型の支援物資を搬入する体制（トラックのほか、鉄道、内航海運）を確保。（JR貨物は4/19より臨時便で輸送開始）

○フィーダー物流

- ・食料とその他の支援物資に分けて、自衛隊と民間事業者が役割分担。
- ・食料については、自衛隊やトラック事業者が日本通運（鳥栖）から南阿蘇村等の市町村へ輸送。飲料水その他の品目については、自衛隊や物流事業者がヤマト運輸（福岡久山等）から、被災地の市町村まで輸送

○人的支援

- ・物流事業者の専門家を非常災害対策本部、熊本県庁等に派遣

○その他

- ・全日本トラック協会が16件、熊本県が68件の支援を実施

(3) 交通

■道路

○物資輸送・渋滞対策

- ・九州道植木（うえき）IC～益城熊本空港（ましきくまもとくうこう）IC間について、昨日より物資輸送車両等が通行可能
- ・国道443号の応急復旧が完了し、本日12時より走行可能。九州道から益城町中心部等への支援物資の円滑な輸送や渋滞緩和に寄与
- ・広域的な対策調整の場（整備局、県、市、警察等）を設置し、以下の対策を実施中

※利用ICの転換による熊本市内への流入分散

※国道3号から他の道路への迂回誘導

※渋滞箇所における仮設トイレ等の設置

○復旧状況

【高速自動車道】（7路線599km → 3路線・85km）※復旧工事着手済

九州自動車道 植木（うえき）IC～八代（やつしろ）IC

※緑川（みどりかわ）PA付近 落橋した跨道橋撤去済・路面復旧中

※益城（ましき）バスストップ付近 土留め鋼材を打設中・その後崩落した盛土を復旧

※木山川（きやまがわ）渡河部 橋桁ずれ 橋梁を支えるベント設備を設置中

大分自動車道 湯布院（ゆふいん）IC～別府（べっふ）IC 等

※由布岳（ゆふだけ）PA 付近 土砂撤去中（4車線中2車線ほぼ完了）

九州中央自動車道 嘉島（かしま）JCT～小池高山（おいけたかやま）IC

【国道・県道・市町村道】（大規模被災箇所）

阿蘇大橋地区斜面崩壊（国道57号・国道325号）

※専門家の意見を聴きながら、土砂撤去用進入路の確保等のため、現地作業中

俵山トンネル（2km） 熊本県西原村 県熊本高森線（覆工コンクリート崩落）

※県の実請を受け、専門家を派遣、迂回路の啓開作業中

■鉄道関係

○新たな開通状況（19日15時以降）

- ・九州新幹線 新水俣～鹿児島中央が、20日始発より開通
- ・熊本市交通局 健軍（けんぐん）線が、20日始発より全線運転再開
これにより熊本市交通局は全線で運転開始

○運転休止

- ・新幹線 九州新幹線 運休区間：博多駅～新水俣駅
※熊本駅～熊本車両基地間（本線上）回送列車1本 全車脱線 車両の撤去作業を実施中
※新大牟田～新水俣間の施設の点検を実施中
- ・在来線 3事業者6路線（運転休止）
 - ・JR九州 4路線
 - ・熊本電気鉄道 一部（1路線）
 - ・南阿蘇鉄道 全線（1路線）

■空港関係

- ・熊本空港：24時間運用し救援業務に対応中（24日まで）で、自衛隊、JAL貨物臨時便、米軍機（オスプレイ他）等利用。
20日の旅客便は、通常の約7割にあたる50便を運航予定（19日25便）
- ・九州の他の空港：通常どおり運用中（大分空港において早朝の運用に対応中）
福岡～鹿児島間等に臨時便を運航

■バス

- ・熊本空港アクセスバスは通常運行。九州高速バス、熊本市内の主要路線バスは概ね運行再開。

(4) 土砂災害

- ・ 重点箇所(阿蘇大橋地区、火の鳥温泉地区、高野台地区、立野川、山王谷川)
 - ・ 阿蘇大橋：専門家の助言を踏まえ、崩壊斜面对策に向けて県と調整
 - ・ 山王谷川他：河道内埋塞土砂撤去等、応急工事の技術的支援
- ・ 震度6強以上を記録した市町村を中心に、緊急度の高い危険箇所約1100箇所に対し、テックフォース(土砂災害現地調査チーム)により点検し、県及び市町村へ情報提供、助言(実施中)
- ・ 土砂災害による二次災害防止への注意喚起
 - ①土砂災害警戒情報等の適切な提供 ②ツイッター等による注意喚起を実施

市町村支援等

○TEC-FORCE 358名が自治体所管施設の被災状況を調査 ※19日347名

○リエゾン 47名 ※19日47名派遣

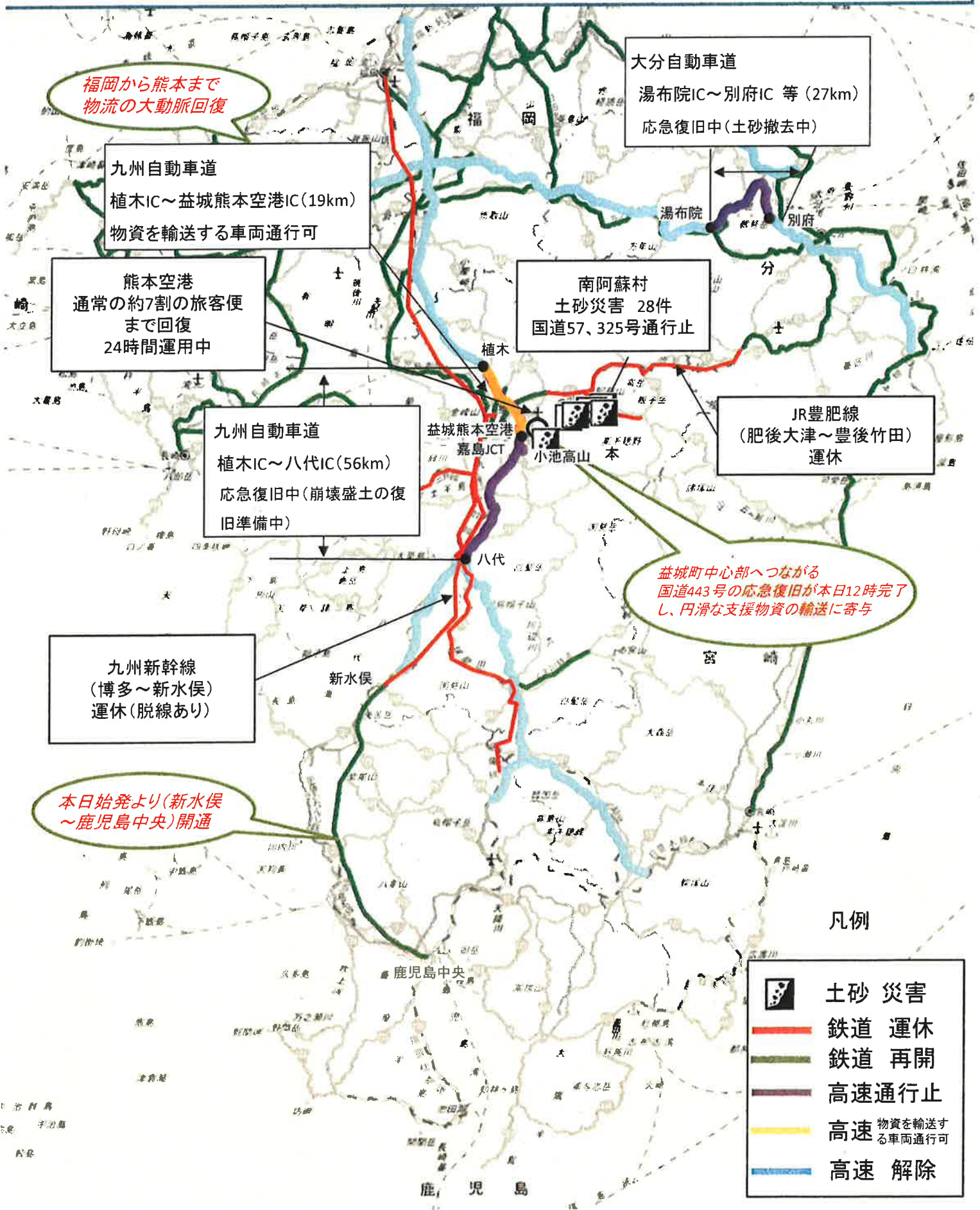
- ・ 熊本県庁6、熊本県現地対策本部2、熊本市3、益城町4、御船町2、嘉島町3、西原村3、南阿蘇村4、菊池市2、宇土市2、大津町2、大分県庁4、阿蘇市2、高森町3、菊陽町2、甲佐町2、JR九州1

○照明車、対策本部車、衛星通信車等 83台

○海洋環境整備船及び海上保安庁巡視船等 45隻・日※熊本、八代等5港

熊本地方を震源とする地震について(国土交通省関連)

4月20日15時00分現在



福岡から熊本まで
物流の大動脈回復

九州自動車道
植木IC～益城熊本空港IC(19km)
物資を輸送する車両通行可

大分自動車道
湯布院IC～別府IC等(27km)
応急復旧中(土砂撤去中)

熊本空港
通常の約7割の旅客便
まで回復
24時間運用中

南阿蘇村
土砂災害 28件
国道57、325号通行止

九州自動車道
植木IC～八代IC(56km)
応急復旧中(崩壊盛土の復
旧準備中)

JR豊肥線
(肥後大津～豊後竹田)
運休

益城町中心部へつながる
国道443号の応急復旧が本日12時完了
し、円滑な支援物資の輸送に寄与

九州新幹線
(博多～新水俣)
運休(脱線あり)

本日始発より(新水俣
～鹿児島中央)開通

凡例

- 土砂 災害
- 鉄道 運休
- 鉄道 再開
- 高速通行止
- 高速 物資を輸送する車両通行可
- 高速 解除